

白岡市人口ビジョン

概要版

平成 22 年



平成 72 年

白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年



平成 31 年

コラボレーション

～手をつなぎ協働と連携の地域づくり～



人口ビジョン | まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？

人口ビジョンは、人口の将来展望や目指すべきまちづくりの方向性を定めるものです。まち・ひと・しごと創生総合戦略は、活力ある地域社会を維持し、人口ビジョンの将来展望を実現するためのまちづくりのプランです。



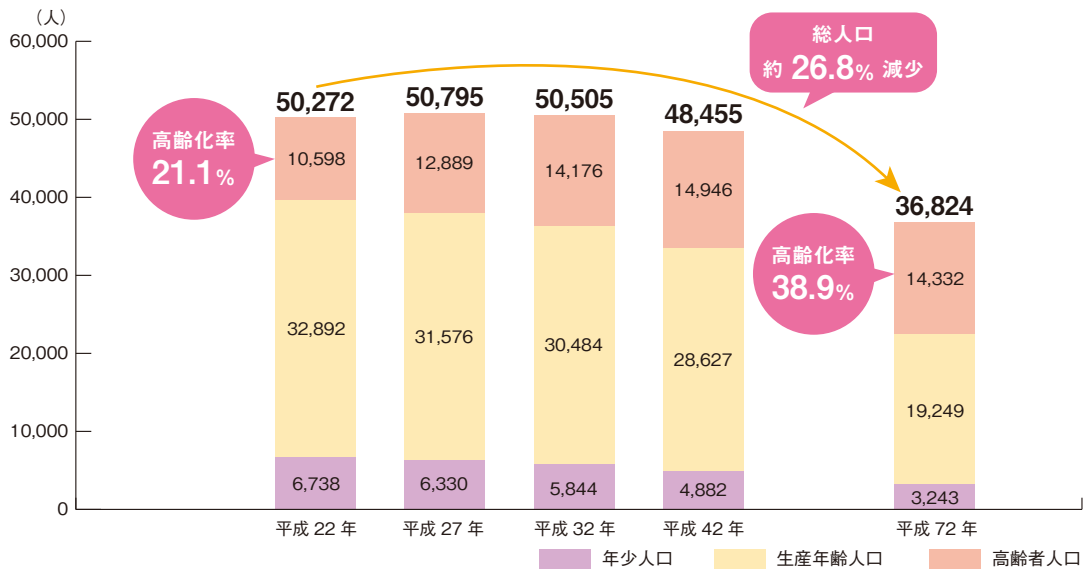
白岡市マスコットキャラクター
「なしりん」「なしべえ」

平成 28 年 3 月
白岡市

白岡市人口ビジョン

今のままだと人口はどうなるの？

白岡市の人口は、現在までは増加傾向にあるものの、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、平成22年の50,272人から平成72年には36,824人まで減少すると見込まれています。



資料：平成 22 年は国勢調査 / 平成 27 年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計値

(注) 平成 22 年の数値の合計には年齢不詳者も含むため、年齢 3 区分別人口の合計と一致しません。

また、平成 27 年以降の数値の合計については、推計値を四捨五入しているため、年齢 3 区分別人口の合計と一致しない数値があります。

人口減少になるとどうなるの？

今後数年で、白岡市の総人口は減少傾向に転じ、平成72年までに約26.8%の人口が減少し、高齢化率は約38.9%まで上昇すると予測されています。こうした人口減少・少子高齢化は、地域生活を支える様々な活動に支障をきたすことが想定されます。

1 生活への影響

- 児童・生徒数の減少による学校行事や部活動などへの影響
- 地域活動の担い手不足による地域コミュニティの衰退
- 高齢化などによる交通弱者の増加

2 地域経済への影響

- 購買意欲の低下による商店街の衰退
- 空き店舗、空き家の増加による地域活力の低下

3 行政運営への影響

- 生産年齢人口の減少などによる税収の減少
- 高齢化の進行による社会保障費の増加
- 公共施設の老朽化による維持管理費の増加

人口減少対策の必要性

人口の減少は、生活、地域経済、行政運営等に多大な影響を与えます。このため、人口の維持と将来的な市民の若返りを図っていく必要があります。



人口の将来展望は？

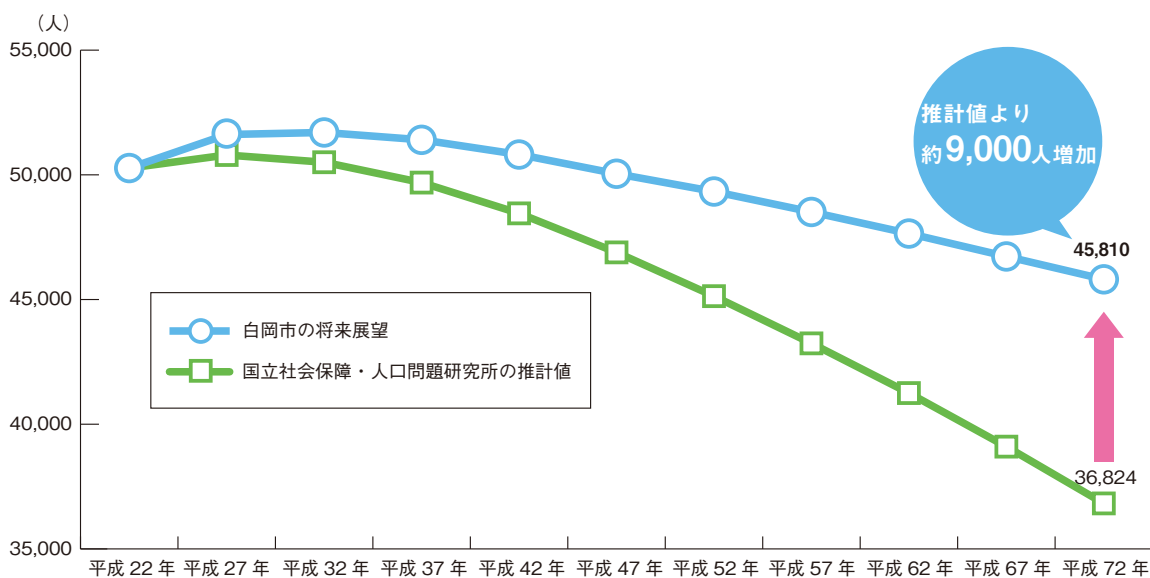
人口減少や少子高齢化の進行を抑制するため、白岡市の人口の将来展望を掲げます。

人口の将来展望

平成 72 年において

46,000 人程度の人口の維持を目指します

白岡市では、平成72年における目標人口を約46,000人に設定しました。それを達成するための基本的視点として「安心・快適に暮らせるまちづくり（定住人口の増加）」「安心して子育てできるまちづくり（出生率の向上）」「まちに愛着を持ち、住み続けたいと感じるまちづくり（若者の転出の抑制）」を掲げています。



「人口の将来展望」とは…

3つの基本的視点に即したまちづくりを進めることにより達成を目指す、将来（平成72年）における人口の目標

基本的視点

- ① 安心・快適に暮らせるまちづくり（定住人口の増加）
- ② 安心して子育てできるまちづくり（出生率の向上）
- ③ まちに愛着を持ち、住み続けたいと感じるまちづくり（若者の転出の抑制）

白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

メインテーマ

今後予測される人口減少に対応し、将来における活力ある地域社会の実現を図るためには、市民、企業、大学等の人材、知見、ネットワークの活用、また、県・他市町との事業連携などを積極的に進めていくことが必要不可欠です。

このようなことから、市総合戦略の施策及び取組は、「コラボレーション～手をつなぎ協働と連携の地域づくり～」をメインテーマとして、市民との協働及び企業、大学等との連携を積極的に推進しながら展開していきます。

メインテーマ

コラボレーション ～手をつなぎ協働と連携の地域づくり～



4つの基本目標

人口の減少を最小限に抑え、将来における活力ある地域社会の実現に向けて白岡市が取り組むべきこととして、4つの基本目標を設定しました。

基本目標 1

住みたい、
住んでよかったと
感じるまちにする

基本目標 2

子供を産み育てる人の
願いをかなえる

基本目標 3

職住近接による
ゆとりある生活を
実現する

基本目標 4

市民満足度の向上を図り
地域への愛着を深める

4つの基本目標に基づき、それぞれの取組を展開します。また、その取組の効果を検証できるように数値目標を設定し、達成状況をチェックするとともに戦略の見直しを行います。

基本目標1 住みたい、住んでよかったと感じるまちにする

市の特長である豊かな自然環境に配慮しながら、生活利便性の向上に資する都市基盤の整備や公共施設の整備を進めていきます。また、首都圏中央連絡自動車道の開通などによる高い交通利便性を生かした新たな土地利用の検討を行い、日常生活の利便性の向上に資する施設などの充実を図ります。

数値目標

年平均転入者数（5年間の年平均）

2,168人
(平成26年度)



2,200人

白岡市から転出したいと考えている人の割合

32.1%



25%

(将来設計に関するアンケート調査)

基本施策1-1 魅力あるまちの創出

主な取組

- 白岡中学校周辺区域における土地利用の検討
- 大学及び高校との連携の推進
- 市民団体等と連携した地域美化活動の実施
- 自主防災組織の育成・支援
- はぴすシティプロモーションの推進

取組によって 目指すこと

- 大学との連携事業数（5年間の延べ数）…………… 0事業 ▶ 10事業
- 自主防災組織の組織率…………… 79.4% ▶ 85%
- はぴすイッチ宣言*者数（5年間の延べ人数）… 102人 ▶ 500人

*個人・団体が健康に関連する取組について宣言書を提出して、健康行動を実践していく活動のこと。

基本施策1-2 生活利便性の向上

主な取組

- 白岡駅西口地域の整備推進
- 白岡駅東部中央土地区画整理事業の推進
- 市民協働による公園の維持管理
- 地域公共交通サービスの充実

取組によって 目指すこと

- 都市計画道路の整備率…………… 70.9% ▶ 74.4%
- 白岡駅東部中央土地区画整理事業の進捗率…… 55.2% ▶ 74.1%
- のりあい交通の一日当たりの平均利用者数…… 22.6人 ▶ 40人

基本目標2 子供を産み育てる人の願いをかなえる

若者が安心して子供を産み育てることができるように、妊娠から子育てまでの総合的な支援の充実を図ります。また、地域における子育てしやすい環境づくりを進めるとともに、働きながら安心して子育てができるよう、保育サービスの充実などによるワーク・ライフ・バランス*1の取組を支援します。

*1：個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加等、個人や家族がライフステージに応じた希望を実現できるようにすること。

数値目標

合計特殊出生率*2

*2：15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

1.40
(平成26年)



1.60

基本施策2-1 出産・子育て等に対する支援

主な取組

- 不妊治療費の助成
- ベビーベッドの貸出し
- こども医療費の拡充の検討
- 多子世帯に対する保育料の軽減

取組によって 目指すこと

- 出生率（人口千人に対する年間出生数の割合）…… 8.2 ▶ 10

基本施策2-2 子育てしやすい環境の充実

主な取組

- 子育て世代包括支援センターの設置の検討
- 保育所の完全給食の実施
- 学校応援団の運営支援
- 小・中学校施設の整備・改修

取組によって 目指すこと

- 働きながら子育てがしやすいと感じている人の割合 …… 11.8% ▶ 20%
- 学校応援団の設置状況（組織・活動の維持）…… 100% ▶ 100%
- 市立小・中学校校舎のトイレにおける便器の洋式化率 …… 28.5% ▶ 50%以上

基本目標3 職住近接によるゆとりある生活を実現する

市民が安心して、ゆとりのある生活を送ることができるよう、新たな土地利用の検討を行い、市内における働く場の創出を図るとともに、若者の雇用の安定に向けた積極的な就職支援を行います。また、農業従事者の高齢化や後継者不足により、農業を取り巻く環境が厳しさを増していることから、6次産業化*の推進など魅力ある農業の振興を図り、農業後継者や担い手の育成・確保を図ります。

*農業者が農産物の生産（1次産業）に加え、加工（2次産業）や流通・販売（3次産業）にも主体的にかかわり、農業経営に新たな付加価値を取り込むこと。

数値目標

市内の民営事業所数

1,435 事業所 (平成 26 年) ▶▶▶ 1,470 事業所

市内民営事業所の従業者数

13,956 人 (平成 26 年) ▶▶▶ 16,100 人

基本施策3-1 産業の育成・支援

主な取組

- 特産品の開発
- 6次産業化の推進
- 企業連携の推進

取組によって 目指すこと

- 企業との連携事業数（5年間の延べ数）…………… 0件 ▶ 15件

基本施策3-2 多様な就業環境の充実

主な取組

- 産業系土地利用の検討
- 企業誘致の推進
- 関係機関等と連携した就業支援の実施

取組によって 目指すこと

- 就業支援事業に参加した人の数
（5年間の延べ人数）…………… 97人 ▶ 500人

基本目標4 市民満足度の向上を図り地域への愛着を深める

市の魅力を発掘し、市内外に効果的に発信することで市民の市に対する愛着を深めて市民満足度と参画意欲の向上を図ります。また、これにより、市民協働の推進と地域活動の活性化を促進します。

数値目標

人口の社会増減*数（5年間の年平均）

*1年間に市内へ転入してきた者の数と市外へ転出した者の数の差のこと。

257人 (平成22年度から26年度の年平均) ▶▶▶ 260人

白岡市に住み続けたいと考えている人の割合

59% (将来設計に関するアンケート調査) ▶▶▶ 67%

基本施策4-1 市の魅力の発信

主な取組

- マスコットキャラクターを活用したプロモーションの検討
- ふるさと納税の有効活用
- 市公式ホームページの充実
- SNSの活用の検討

取組によって 目指すこと

- 年間のふるさと納税の件数 1,571件 ▶ 3,000件
- 年間の市公式ホームページへのアクセス件数 396,634件 ▶ 560,000件

基本施策4-2 市民参画による市民の市への愛着の向上

主な取組

- 協働のまちづくりモデル事業の推進
- 生涯学習事業（ペアーズアカデミー、学校開放講座等）の推進

取組によって 目指すこと

- 市民との協働により実施している市の事業数 43事業 ▶ 50事業
- 市民サポーター登録人数 0人 ▶ 100人
- 協働のまちづくりモデル事業の延べ実施事業数 6事業 ▶ 18事業